

特集

まちづくりの現場から

このコーナーは、上毛町第1次総合計画に掲げられた目標を実現するために、町が取り組んでいる事業のプロセスや課題などを毎月シリーズで紹介するものです。今月は、「田舎暮らし研究村構想」の現場からお届けします。

定住促進施策「住みたい上毛町推進プロジェクト」

田舎暮らし研究村構想

「いつまでも元気なまち」と

「笑顔の好循環」

「人が元気な上毛町。その背景には、風土や慣習、人情に加え、地域の魅力発掘と課題解決のために活動する住民皆さんの活躍があります。こうした地域の人材は上毛町の一番の魅力といえます。しかし、地域の担い手の高齢化や、子どもの数の減少など、過疎の動きは山間部であるほど年々深刻化しています。全国の自治体が同様の課題に直面している状況において、上毛町がいつまでも「元気なまち」であり続けるためには、今、何が必要なのでしょうかが。

昨年度からスタートしたお試し居住プロジェクト「上毛町ワーキングステイ（広報5月号参照）」は、上毛町への移住を考える取り組みとして大変好評であり、これまで全国から7組の方が「上毛町暮らし」を体験しました。参加者からは、交流、子育て、教育、通信、空間づくりに至るまで、上毛町での暮らしのニーズや課題などについて提案がありました。また、実際に上毛町への移住を希望する方も現れています。今年度からは新たに、お試し居住「プロジェクト」の拡大版「田舎暮らし研究村構想」を掲げ、地域貢献やまちづくりに意識の高い外部人材を受け入れる仕組みづくりを進めています。

構想の特徴として、上毛町での暮らしや働き方を考える拠点「田舎暮らし研究サロン」を開設します。研究サロンを交流や移住の「入口」とすることで、外部人材を積極的に迎え入れていきます。ここでは、地域への案内役として、地域おこし協力隊員を配置する予定です。また、田舎暮らしに関連する研修会などを通年実施していきます。町を訪れる方が、地域の皆さんと活発に交流し、互いに助け合い、刺激し合うきっかけをつくることを短期目標とし、「いつまでも元気なまち」を実現する「笑顔の好循環」の仕組みをつくることを将来目標としています。

田舎暮らし研究サロンの開設・運営

交流・移住・定住促進のシンボルに

都市部との交流が盛んで町有数の眺望を誇る東上有田地区に研究サロンを開設します。研究サロンは、定住促進のためのシンボルであり、地域で暮らすことへの理解を深め、これからの時代の暮らし方や働き方を、新しいアイデアと共に皆で考える場所です。町を訪れる方の「入口」として、地域の魅力的な人々や山間部での暮らしなどを中心に案内をしていきます。研究サロンは、いつでもどなたでも好きなときに交流や文化体験ができる場所として広く一般に開放していきます。

研究サロンでは、田舎暮らし研究村構想の実現に向けた事業のほか、交流や移住に対する相談対応や各種イベントなどを実施していきます。同時に、情報発信も研究サロンの大切な役割となりますので、専用のホームページを開設し、全国の関心層が望んでいる情報を戦略的に発信していきます。

学生と地域による空間づくり

研究サロンは、長年、空き家になっていた築100年を超える古民家を活用します。今回は、古民家の改修を、学生と地域が参加する教育プログラムとして実施しています。改修を通じて、多くの方に愛着を持って親しんでいただける空間づくりを目指しています。

現在、公募で集まった大学生（福岡・北九州を中心に、建築学科などに在籍する8人）が、建築士に学びながら、設計から施工までを行っています。皆さんにとって利用しやすい空間になるよう、大学生がいろいろな方に聞き取り調査を行い、議論を重ねています。これまで2泊3日の現地合宿を3回行い、設計や施工準備を行ってきました。地域の方も「サポーター（広報12月号で募集）」として大学生を支えています。2月下旬から約1カ月間、施工合宿を行う予定です。ぜひ地域の皆さんのご参加をよろしくお願ひします。この取り組みは、空き家活用のモデルとしても期待されています。



構想に掲げるプロジェクトの例



外部人材
知識や経験が豊富で地域貢献などに対する意識が高く、実践能力がある人

例えば、田舎への移住をじっくり考える

東日本大震災以後、自然豊かな場所や、大都市を離れた安全な場所へ移住を希望する若者が増えています。一方で、新しい土地に転居して暮らし続けるためには、住居や仕事だけでなく、地域との関係づくりなど様々な課題や不安も抱えています。そして、その不安は受け入れる側も同様です。地域住民が求めるものと、移住者の思い描くものにはズレがあることも多いようです。

研究サロンでは、地域の皆さんと移住希望の方との橋渡しをしながら、地域に望まれる形での移住をお手伝いしていきます。交流のきっかけからお互いが顔見知りになり、信頼関係が生まれて初めて、空き家を賃したり移住を受け入れたりする可能性が見えてきます。その時間のかかるプロセスを、皆さんと一緒にじっくりと取り組んでいくことが、今求められています。

◎今後のスケジュール

- 3月末のオープンを目指して作業を進めています。今後、イベントなどは随時、広報やホームページでお知らせします。
- | | |
|----------|-------------------|
| 施工合宿 | 2月24日(月)～3月21日(金) |
| オープンハウス | 3月29日(土)～30日(日) |
| グランドオープン | 6月上旬 |
- 問い合わせ先 企画情報課
TEL 72-3111(内線122)